

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年12月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機 使用済燃料プール循環系ポンプ入口圧力の低下について】</p> <p>当直員が、3号機 使用済燃料プール循環冷却一次系において、二次系配管切り離し作業終了に伴う復旧操作の際、一次系ポンプ入口圧力低下の発生を確認。</p> <p>調査の結果、3号機 廃棄物処理建屋床ドレンサンプポンプの運転頻度の増加傾向が確認されたことから一次系の水が当該床ドレンサンプに流入した可能性があること、また、床ドレンサンプに流入した量と一次系停止時のスキマサージタンクの水量が同程度であることを確認。</p> <p>上記状況から、スキマサージタンクの水位が低下している可能性があることを確認。</p> <p>なお、現時点で確認可能な一次系設備からの漏えいがないこと、および使用済燃料プールの水位がオーバーフロー水位付近にあることを確認済み。</p> <p>今後、引き続き原因調査を行う。</p>	G II	12月15日
2	<p>【5号機 計算機用電源装置警報発生について】</p> <p>設備主管箇所が、5号機の計算機用電源装置試験中に、電圧低の警報発生を確認。</p> <p>調査の結果、電圧が確保されているものの、電圧表示が低い値となっていたため、インターロック(安全装置機能)が働かなかったものと推定。</p> <p>なお、給電は継続していることから、負荷設備側への影響はなし。</p> <p>今後、原因を調査し対策を実施予定。</p>	G III	12月14日
3	<p>【増設多核種除去設備(A)の吸着塔2A圧力計検出元弁の開操作不能について】</p> <p>当直員が、増設多核種除去設備(A)の系統復旧の際、吸着塔2Aの圧力計検出元弁を開操作するも、弁が動かないことを確認。</p> <p>原因は、当該弁の固着または弁駆動部の不良と推定。</p> <p>なお、当該増設多核種除去設備(A)は点検停止中であり、(B)(C)系統を運転しているため支障なし。</p> <p>今後、当該設備(A)点検停止の期間中に、弁の点検または交換を実施予定。</p>	G III	12月15日
4	<p>【サブドレン浄化設備前処理フィルタ(3B)用pH緩衝塔(B)入口弁シート漏えいについて】</p> <p>当直員が、サブドレン浄化設備前処理フィルタ(3B)ベント配管から、鉛筆芯1本程度の水が出ていることを確認。</p> <p>調査の結果、当該フィルタ用pH緩衝塔(B)入口弁からのシート漏えいと判明。</p> <p>なお、別の計器でpH計測できているため、浄化運転に問題なし。</p> <p>今後、当該弁の点検または交換を実施予定。</p>	G III	12月16日
5	<p>【サブドレンピット箱型カバー扉の施錠金具破損について】</p> <p>当直員が、サブドレンピット5箇所(5箇所)の箱型カバー扉に、施錠金具の破損を確認。</p> <p>なお、当該サブドレンピットの設備運転に支障なし。</p> <p>今後、当該施錠金具の修理を実施予定。</p>	G III	12月14日